

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第7週)

宮城県【平成27年02月19日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2015.2.9 ~ 2.15 ・ 第7週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所						仙 台 市		宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第4週	第5週	第6週	第7週
水痘	8 1.60	4 0.40	3 0.60			2 0.40		15 0.58	32 0.55	309	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10				1 0.20		8 0.31	11 0.19	45	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	72 14.40	106 10.60	43 8.60	18 9.00	23 7.67	66 13.20	17 8.50	338 13.00	683 11.78	4,360	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	1 0.20				3 1.00			3 0.12	7 0.12	69	→	→	→	
伝染性紅斑	2 0.40	3 0.30	4 0.80			5 1.00	1 0.50	9 0.35	24 0.41	428	◎→	◎→	◎→	レ
突発性発しん		7 0.70	3 0.60		2 0.67	1 0.20	1 0.50	16 0.62	30 0.52	183	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ								2 0.08	2 0.03	6	→	→	→	
インフルエンザ	156 19.50	162 10.80	126 15.75	11 3.67	75 15.00	148 18.50	46 11.50	356 8.48	1080 11.61	15,882	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱		1 0.10	1 0.20	3 1.50				11 0.42	16 0.28	76	→	→	→	
流行性角結膜炎		3 1.00						2 0.33	5 0.42	13	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.40	21 2.10	3 0.60		2 0.67	38 7.60		83 3.19	149 2.57	922	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎				3 3.00			2 2.00	1 0.20	6 0.50	52	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	2 0.20		2 1.00	3 1.00	3 0.60		6 0.23	17 0.29	254	レ→	○→	レ→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	5											
	川崎病													
	不明発疹症							1						
感 染 性 胃 腸 炎 ( <b>ロ</b> タウ <b>イ</b> ルス)※			1							1				67

◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○：発生または流行について、今後の情報に留意  
レ：発生が少なくなっている傾向  
【**週報の詳報**】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。  
<http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/>

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第3週		22.1	30.2	16.6	3.6	5.2	7.6	4.8	3.5	3.0	1.6	1.8	2764
第4週		19.6	35.4	21.3	3.2	3.0	5.9	4.1	2.8	2.1	1.1	1.4	3545
第5週		20.6	35.4	20.9	2.5	3.2	5.5	4.2	3.2	2.0	1.6	0.9	2786
第6週		20.0	33.6	23.0	3.0	2.2	5.5	4.8	2.7	2.4	1.5	1.1	1807
第7週		21.5	33.7	20.6	3.3	3.2	5.2	4.2	3.2	2.7	1.6	1.1	1080

## インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

## 今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核  
塩釜管内 男性1名  
大崎管内 男性1名(第6週)

3類感染症: 報告なし  
4類感染症: 報告なし  
5類感染症: 後天性免疫不全症候群  
仙台管内 男性1名(第6週)  
侵襲性肺炎球菌感染症  
仙台管内 女性1名(第6週)  
カルバペネム耐性腸内細菌感染症  
仙台管内 男性1名

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 11例

### 今週の感染症のコメント

#### ～宮城県感染症対策委員会情報解析部～

【感染性胃腸炎】  
仙南管内で警報継続中。  
【インフルエンザ】  
仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼管内で警報継続中。  
塩釜管内で注意警報継続中。  
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】  
石巻管内で警報継続中。  
【伝染性紅斑】  
石巻管内で警報継続中。

### 【病原体検出情報】

#### ～宮城県保健環境センター～

検出場所	検出回数	検出病原体	検出件数
塩釜管内	第6週採取分	ノロウイルスG I	1件
		ノロウイルスG II	2件
大崎管内	第6週採取分	サボウイルス	1件
インフルエンザ患者より			
塩釜管内	第4週採取分	インフルエンザウイルスAH3	2件
	第5週採取分	インフルエンザウイルスAH3	1件
	第6週採取分	インフルエンザウイルスB	1件
登米管内	第6週採取分	インフルエンザウイルスAH3	4件
気仙沼管内	第5週採取分	インフルエンザウイルスAH3	4件
	第6週採取分	インフルエンザウイルスAH3	4件

#### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	第5週採取分 (1.26~2.1)	第6週採取分 (2.2~2.8)	第7週採取分 (2.9~2.15)
インフルエンザウイルスA(H3)	3件	1件	0件
インフルエンザウイルスB	2件	0件	0件
バラインフルエンザウイルス4型	1件	0件	0件
RSウイルス	2件	0件	4件
単純ヘルペスウイルス	1件	1件	0件

【感染性胃腸炎】  
県全体の患者報告数は減少しましたが、増加のみられる管内もありますので、引き続き手洗いの徹底など予防対策に努めてください。下記HPを参照・活用ください。  
・厚生労働省 ノロウイルスに関するQ&A  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第5週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(58.50)、鹿児島県(53.12)、山口県(51.72)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,078例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(67例)、1~9歳(205例)、10代(45例)、20代(15例)、30代(9例)、40代(22例)、50代(38例)、60代(70例)、70代(180例)、80歳以上(427例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は2,240例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は第2週以降増加が続き、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では石川県(5.69)、鳥取県(5.21)、山形県(5.00)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(13.14)、福井県(13.14)、鳥取県(12.74)、富山県(10.83)が多い。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮城県(1.16)、石川県(0.97)、神奈川県(0.91)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では石川県(1.60)、富山県(1.20)、宮城県(0.75)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は横ばいであった。29都道府県から70例報告があり、年齢別では0歳(9例)、1~4歳(46例)、5~9歳(9例)、10代(2例)、20代(1例)、50代(1例)、70歳以上(2例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数